

沼津市スポーツ推進基本計画

2024年度～2033年度

《概要版》



2024年3月
沼津市



(1) 目的

第5次沼津市総合計画で本市が目指す将来都市像「人・まち・自然が調和し、躍動するまち～誇り高い沼津を目指して～」の実現に向けて、今後10年間の本市スポーツ分野の施策を推進する上での基本的な考え方と指針を明らかにする。

(2) 計画の位置づけ

1

スポーツ基本法に基づく「地方スポーツ推進計画」

スポーツ基本法では、各地方公共団体は国のスポーツ基本計画を参酌して、「地方スポーツ推進計画」を定めるよう努めるものとされている（第10条）。本計画は、この規定に基づく「地方スポーツ推進計画」となる。

2

平成26年策定の「沼津市スポーツ推進基本計画」の後継計画

「沼津市スポーツ推進基本計画」（平成26年3月策定）（以下、「従前計画」と略記）及び「同後期推進計画」（平成31年3月策定）の計画期間が令和5年度で終了することから、計画策定後の国や静岡県に関連政策動向、従前計画の進捗状況及び環境や市民ニーズの変化を踏まえて、令和6年度からの10年間を計画期間とする新たなスポーツ推進基本計画を策定する。

(3) 計画の期間

本計画の期間は、2024（令和6）年度から2033（令和15）年度までの10年間とする。この期間を前期と後期に分け、本基本計画に沿った実施計画を定め、具体的な推進を図る。

前期計画：2024（令和6）年度～2028（令和10）年度
後期計画：2029（令和11）年度～2033（令和15）年度

(4) 上位計画と関連計画

第5次沼津市総合計画の方針を踏まえるとともに、国のスポーツ基本計画及び静岡県のスポーツ推進計画を参酌しながら、本市の関連計画の運動・スポーツに関する施策方針と整合を図りつつ計画を策定する。



2.1 計画目標の達成度

計画目標1 成人の週一回以上の運動・スポーツ実施率
3人に2人(65%程度)
(現状) 52.2% [令和4年市民アンケート]

計画目標2 小中学生の新体力テストの結果が
静岡県の平均以上
(現状) 小学生の一部の種目を除いて静岡県平均以下
(全体的に現行計画策定時よりも低下傾向)

2.2 施策方針別の進捗状況

基本方針	施策の方向性	進捗状況
1 生涯スポーツの推進	ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても感染対策の工夫によりほとんどの事業を継続して実施した ・公共施設の利用者数、教室参加者数は、全体的にみてもやや減少傾向にある ・市と連携協定を結んでいるプロ、トップチームと連携しトップアスリート教室を開催 ・体力づくり教室は、2023(令和5)年度から香陵アリーナの指定管理者に移管
	地域スポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で利用制限を行いながら学校開放は継続 ・利用団体のアンケートでは、利用種目は、バレーボールなどの屋内競技が多い ・利用団体の高齢化、会員減少が進んでいる
	競技スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で中止、縮小される大会が多くあったが、2022(令和4)年度は回復の兆しがみられている
2 スポーツ環境の整備	新市民体育館の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・2023(令和5)年3月開館
	既存施設の機能強化と活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ広場の整備箇所39か所 ・施設の老朽化などに対応した修繕対応を継続して実施
	総合型地域スポーツクラブの育成	<ul style="list-style-type: none"> ・前期から登録2団体のままで推移している
3 スポーツ活動を支える仕組みの充実	スポーツ活動を支える人材の育成・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・2021(令和3)年度から関連事業を統合して「スポーツ指導者バンク」を創設し、市民の健康づくり活動を支援(登録者数・66名)
	スポーツに関する情報提供体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ぬまづの他、市ホームページやSNSでの発信、学校へのポスター・チラシ配布、報道機関への情報提供などでの広報活動を実施
	関係機関・団体との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会への支援を継続的に実施
スポーツ交流事業	スポーツ交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンシングのまち沼津推進事業 ・アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業 ・沼津サイクルツーリズム推進事業



3.1 市民スポーツの推進課題

市民の日常にスポーツをより一層浸透させる（参加率、実施頻度の向上）ためにはこれまでの取組だけでは不十分であり、よりきめ細かな施策が求められる。

このため、個別事業のねらいや対象層の明確化、市民の多様化するニーズへの対応、新しいスポーツスタイルの導入、事業成果の評価とフィードバック方法の確立などに取り組んでいく必要がある。



スポーツ実施率向上のための取組強化
(無関心層・低頻度実施層への対応など)



市民主体の継続的な活動の場の確保
(学校開放の仕組み充実、公園・遊休地活用など)



子どものスポーツ環境の再編・充実
(学校部活動のあり方検討、地域クラブ育成など)

3.2 スポーツまちづくりを推進するための課題

少子高齢化・人口減少が進行する中で、交流人口・定住人口の維持・拡大のために、今後、人を惹きつける都市の魅力やブランド力を強化していくことがこれまで以上に重要となる。そのためにスポーツは有効な資源となりうることから、これまでのスポーツ交流事業の成果を踏まえ、香陵アリーナ（市民総合体育館）や恵まれた自然環境など、本市の強みを活かしたスポーツまちづくりをさらに充実させていく必要がある。



スポーツによる地域課題の解決促進
(多文化共生社会、コミュニティの絆づくりなど)



スポーツを通じたまちの活力づくり
(大会・イベント誘致、スポーツツーリズムなど)



豊かな自然・環境資源の有効活用
(サイクリング、ウォータースポーツなど)



4.1 本計画におけるスポーツの定義

【本計画におけるスポーツ】

- 競技スポーツに限らず、ジョギング、ウォーキング・散歩、体操などの軽い運動やレクリエーションなど、目的を持った身体活動のすべてをスポーツとして捉える
- スポーツを「する」以外に、スポーツを「みる」、スポーツ活動を「ささえる」活動も、本計画の対象とする

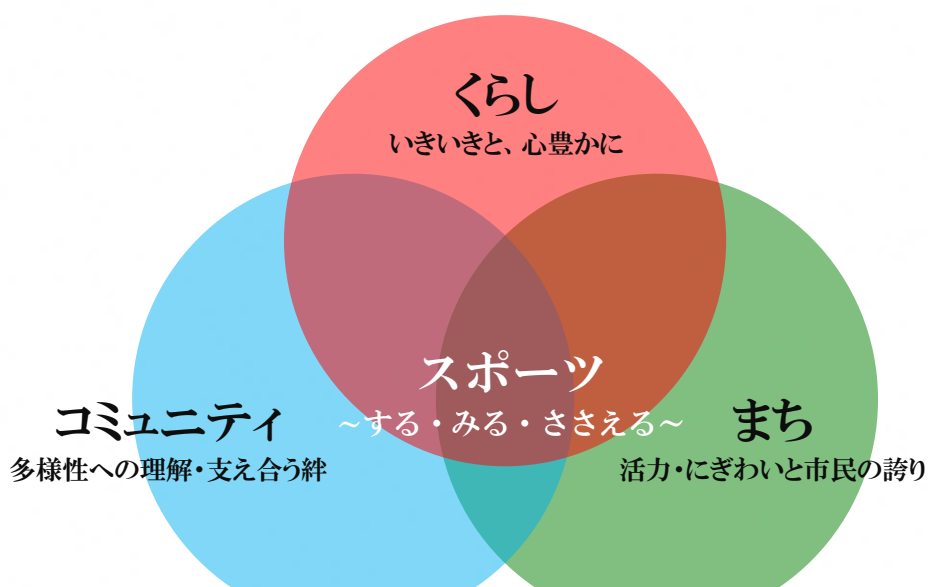
4.2 目指す都市像

スポーツは、「する」「みる」「ささえる」の自発的な活動を通じて、多くの人と「楽しさ」や「感動」を分かち合える本質的な価値を有している。また、スポーツ活動が活発化することで、心身の健康増進、人や地域とのつながりや交流の創出、多様性に対する理解の促進、地域への経済波及効果など、地域や社会の課題を解決し、新たな活力を生み出す社会的効果も期待できる。¹

本計画のめざす姿は、この2つのスポーツの価値を最大限に享受し、まちづくりに活かしている、スポーツとともにある「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」である。

(目指す都市像)

- すべての市民が日常的にスポーツを楽しみ、いきいきと、健康で心豊かに暮らしている
- スポーツを通じて、多様性に理解があり、互いに支え合うコミュニティが形成されている
- スポーツがまちの活力やにぎわいの源泉であり、市民の誇りとなっている



スポーツとともにある
「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」

¹ 参照：第3期スポーツ基本計画『スポーツ基本計画における「スポーツ」の捉え方』



4.3 基本理念

これまで述べた考え方を踏まえ、本計画の基本理念を以下のとおり設定する。



(基本理念)

With Sports City 沼津

～「スポーツとともにある暮らし」をもっと豊かに～



市民スポーツの推進

スポーツまちづくりの推進

スポーツが、日々の暮らしとともにあるまち
そこでは、誰もが違いを認め合える
優しいコミュニティがスポーツで育まれ
スポーツでまちがにぎわい、市民の誇りとなっている

その将来像に向けて
市民、スポーツ関係者、行政、民間事業者が連携し
スポーツとともに歩いていく
「スポーツとともにある暮らし」をもっと豊かにするために

With:「…と」、「…とともに」、「…と一体となって」、「…を使って」の意味





4.4 基本方針

基本方針

【1】

With Sports 暮らしの中にスポーツを



(対応課題)

・スポーツ実施率向上のための取組強化 ・市民主体の継続的な活動の場の確保

(目指す姿)

すべての市民が日常的にスポーツを楽しみ、いきいきと、健康で心豊かに暮らしている

(方向性)

それぞれの体力や生活スタイル、スポーツに求める志向など市民一人ひとりの個性・ニーズに応じたスポーツの機会や活動の場が身近にあることで、充実した毎日を過ごせ、日々の暮らしが「スポーツとともにある」(With Sports)と実感できる環境や仕組みづくりを行っていく。

基本方針

【2】

With Sports スポーツでつながるコミュニティ



(対応課題)

・スポーツによる地域課題の解決促進 ・子どものスポーツ環境の再編・充実

(目指す姿)

スポーツを通じて、多様性に理解があり、互いに支え合う地域コミュニティが形成されている

(方向性)

子どもからお年寄りまで、また障がいの有無や様々な違いを互いに認め合い、ともに笑顔でスポーツを通じたコミュニティに参加することができ、その活動を通じて地域の絆がより強くなることを目指した取組を進め、様々な地域課題の解決につなげる。

基本方針

【3】

With Sports スポーツでまちに活力を



(対応課題)

・スポーツを通じたまちの活力づくり ・豊かな自然・環境資源の有効活用

(目指す姿)

スポーツがまちの活力やにぎわいの源泉であり、市民の誇りとなっている

(方向性)

本市の特性である海・山・川の豊かな自然や市内に点在する各種スポーツ施設を、プロスポーツチームや民間事業者、各種団体と連携することでより有効に活用し、大会・合宿誘致やスポーツツーリズムなどの取組を強化する。スポーツをする人、みる人、ささえる人が立場の違いを超えてスポーツをきっかけに集まり、交流する、活気あるスポーツのまちの実現を目指す。



4.5 施策体系

【基本理念】			
With Sports City 沼津			
～「スポーツとともにある暮らし」をもっと豊かに～			
基本方針	施策の方向性	基本施策	
1 暮らしの中に スポーツを	(1) 生涯スポーツ活動の 推進	① スポーツ情報の発信	
		② スポーツ教室の開催	
		③ 多様なスポーツの楽しみ方の啓発・普及	
	(2) 競技スポーツ活動の 推進	① 競技スポーツ活動の支援	
		② 競技スポーツ団体の支援と連携	
	(3) スポーツ活動を支える 人材の育成	① 質の高いスポーツ指導環境の整備	
		② スポーツボランティアの育成と活躍の場の創出	
	(4) スポーツを楽しむ 場の充実	① 既存施設の適切な維持・運営管理	
		② スポーツ施設以外の既存施設等の有効活用	
		③ 施設の適正配置の検討	
	2 スポーツで つながる コミュニティ	(1) 地域スポーツ活動の 推進	① 身近なスポーツ環境の充実
			② スポーツ推進委員の活動支援
③ 市民主体のスポーツ活動の支援			
④ パラスポーツの推進			
(2) 地域の課題解決につながる スポーツの推進		① 地域コミュニティ活動におけるスポーツ活用の促進	
		② スポーツを通じた子育て支援	
		③ スポーツを通じた SDGs 貢献の啓発	
(3) 学校運動部活動の 地域移行の推進		① 新たな活動環境の構築	
		② 各種団体・総合型地域スポーツクラブとの連携	
3 スポーツで まちに 活力を	(1) スポーツ交流の推進	① フェンシングのまち沼津の推進	
		② サイクルツーリズムの推進	
		③ 地域資源を活かしたスポーツ交流の促進	
	(2) プロ・トップスポーツ との連携	① アスルクラロ沼津との連携	
		② 様々な競技のチームとの連携	



5.1 基本方針【1】

With Sports 暮らしの中にスポーツを

(1) 生涯スポーツ活動の推進

従前計画の「市民1人1スポーツの推進」方針を継承するとともに、市民の日常生活にさらにスポーツを浸透させるため、以下の考え方に沿った施策を展開する。

- スポーツ非実施層や低頻度実施層への働きかけなどによってスポーツの実施率の向上を図る。
- 世代別やスポーツに取り組む目的別など、対象層を明確にするなどの工夫により、スポーツ実施の質（実施頻度や内容）の向上を図る施策を効果的に推進する。

また、アーバンスポーツなどの新しいスポーツの動向を見据え、多様なスポーツの楽しみ方を市民に発信し、市民とスポーツの関係をより豊かなものとしていく。

【基本施策】

- スポーツ情報の発信
- スポーツ教室の開催
- 多様なスポーツの楽しみ方の啓発・普及

(2) 競技スポーツ活動の推進

多くの競技団体において、会員の高齢化や少子化に伴う会員減少の問題が顕在化する中、市民が仲間とともに、楽しく競技スポーツに取り組めるための支援を行う。また、記録向上や大会でのより上位の成績を目指して日々、研鑽を積んでいる市民やチームに対してその活動を支援し、全国、さらには国際レベルで活躍する本市ゆかりの選手の輩出を目指す。

【基本施策】

- 競技スポーツ活動の支援
- 競技スポーツ団体の支援と連携

(3) スポーツ活動を支える人材の育成

様々なスポーツ活動を支える人材の確保と指導者の資質の向上は、「With Sports City 沼津」を形成するために不可欠の要素である。このため、質の高い指導が受けられる環境の整備やスポーツ活動を様々な面で支えるスポーツボランティア育成や活用に取り組んでいく。

【基本施策】

- 質の高いスポーツ指導環境の整備
- スポーツボランティアの育成と活躍の場の創出

(4) スポーツを楽しむ場の充実

市内の公共スポーツ施設の多くは老朽化が進んでいることから、公共施設マネジメント計画を踏まえ、適正な施設の整備、維持管理に取り組む。また、官民連携によるスポーツ施設整備方策の研究等を通じて、市民ニーズや市の財政状況を踏まえた市民スポーツ施設の適正配置のあり方を検討する。

【基本施策】

- 既存施設の適切な維持・運営管理
- スポーツ施設以外の既存施設等の有効活用
- 施設の適正配置の検討





5.2 基本方針【2】

With Sports スポーツでつながるコミュニティ

(1) 地域スポーツ活動の推進

従前計画では、地区センターなどを活用した地域体づくり教室や地域のスポーツ広場の整備、地域への学校施設の開放など、地域のスポーツ環境・サービスの充実に取り組んできた。これらの実績を、人と人、人と地域をつなぐスポーツの観点から再編成するとともに、さらなる内容の充実を図り、スポーツを通じた、多様性に理解があり、互いに支え合う地域コミュニティの形成につなげていく。



【基本施策】

- 身近なスポーツ環境の充実
- スポーツ推進委員の活動支援
- 市民主体のスポーツ活動の支援
- パラスポーツの推進

(2) 地域の課題解決につながるスポーツの推進

地域にスポーツが根つき、活動が盛んになることで、人と人との交流促進、地域の一体感や活力醸成、共生社会の実現、地域経済の活性化など、様々な社会効果が期待できる。この視点から、地域や市民の様々なコミュニティ活動とスポーツを結び付けることで、スポーツを通じた地域の課題の解決に取り組む。

【基本施策】

- 地域コミュニティ活動におけるスポーツ活用の促進
- スポーツを通じた子育て支援
- スポーツを通じたSDGs 貢献の啓発

(3) 学校運動部活動の地域移行の推進

少子化及びそれに伴う学校の小規模化により部活動の運営が困難になる中、未来を担う子どもたちの体験、学びの場を維持・継続するため、スポーツ庁の学校部活動の地域移行方針を踏まえ、本市の地域特性に合致した沼津型の地域クラブ活動モデルを創出する。



【基本施策】

- 新たな活動環境の構築
- 各種団体・総合型地域スポーツクラブとの連携



5.3 基本方針【3】

With Sports スポーツでまちに活力を

(1) スポーツ交流の推進

本市では、これまで、スポーツを活用したまちづくりを進めるため、「フェンシングのまち沼津推進事業」、「アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業」、「沼津サイクルツーリズム推進事業」の3事業を中心にスポーツ交流を推進してきた。今後も、官民連携によってこれらの事業のより一層の拡充を図るとともに、本市の強みである豊かな自然や本市のスポーツ拠点施設である香陵アリーナなどの活用によって、スポーツツーリズムなど、さらなるスポーツ交流を推進していく。

【基本施策】

- フェンシングのまち沼津の推進
- サイクルツーリズムの推進
- 地域資源を活かしたスポーツ交流の促進

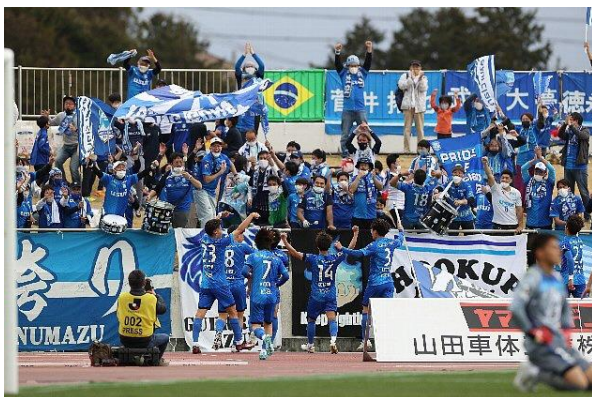


(2) プロ・トップスポーツとの連携

本市及び静岡県に拠点をもちプロ・トップチームなどとの連携を強化し、市民が「する・みる・ささえる」の多様な形態で当該チームとの接点を持つことで豊かなスポーツライフを享受できるように支援するとともに、チームとのパートナーシップによるスポーツまちづくりを推進する。

【基本施策】

- アスルクラロ沼津との連携
- 様々な競技のチームとの連携
(東レアローズ、ベルテックス静岡、レバンテフジ静岡、静岡ブルーレヴズ、くふうはやてベンチャーズ静岡など)



©azul claro





【計画目標】

基本方針		指標	現状	目標値 (2033年度)
1	暮らしの 中に スポーツを	成人の週一回以上の スポーツ実施率	2022（令和4）年度 52.2%	70.0%
		世界大会・全国大会 出場者数	2022（令和4）年度 40件	50件
		社会体育施設 年間利用者数	2022（令和4）年度 337,198人	450,000人
2	スポーツで つながる コミュニティ	学校開放施設 年間利用者数	2022（令和4）年度 289,578人	400,000人
		各地域における スポーツ活動件数	2022（令和4）年度 160件	220件
		運動・スポーツが好きな 児童・生徒の割合	2022（令和4）年度 86.4%	90.0%
3	スポーツで まちに 活力を	大会・合宿誘致 （開催）件数	2022（令和4）年度 20件	30件
		スポーツ交流人口 （大会・イベント参加 者数等）	2022（令和4）年度 11,828人	13,000人
		スポーツ交流人口 （プロスポーツ）	2022（令和4）年度 36,803人	60,000人

沼津市スポーツ推進基本計画

2024年度～2033年度
【概要版】

2024年3月 発行
沼津市役所産業振興部 ウィズスポーツ課